

城北中学校・ 高等学校

所在地:〒174-8711
東京都板橋区東新町2-28-1
東武東上線「上板橋」駅より徒歩10分、
東京メトロ有楽町線・副都心線「小竹向原」
駅より徒歩20分
TEL:03-3956-3157
www.johoku.ac.jp



「人間形成と大学進学」を教育目標に 充実の環境で未来への道を開く

毎年、難関大学に多数の合格者を輩出する男子進学校として知られる城北中学校・高等学校。創立から80年余りの歴史を誇る伝統校は現在、長く受け継がれてきた「質実厳正」の校風の下、人間力と学力をバランス良く鍛える教育に取り組んでいます。恵まれた環境と設備を誇り、熱意あふれる先生方が生徒をきめ細かくサポートする態勢が魅力の同校。その教育理念や教育方針について、校長の小俣力先生に伺いました。



伝統を守り、環境・施設を整え、 豊かな人間性を育てる

広野 昨年創立80周年を迎えられました。まずはその経緯からお聞かせください。

小俣 本校は1941年、「自由な教育」をめざして儒学者の深井鑑一郎とその教え子である井上源之丞によって創設されました。当初の教育目標は「人間形成と上級学校への進学」で、現在は時代背景に即した「人間形成と大学進学」を教育



校長 小俣 力 先生

の柱にしています。

広野 「自由な教育」は、先行きの見えない今の時代にこそ必要なものですね。

小俣 はい。80年にわたる伝統の根幹ですので、今も変わっていません。「着実・勤勉・自主」の校訓の下、みずからを厳しく律する「質実厳正」の精神と、懸命に努力を続ける「刻苦勉励」の精神も大切に引き継いでいます。

広野 「人間形成」については、どのような人物像を思い描いていらっしゃるのですか。

小俣 社会を支え、人々を導くリーダーとして活躍する人間、人と人とをつなぐことのできる人間の育成をめざしています。教育を考えるうえで、心身ともに健やかな人を育てることは最も重要です。本校の場合、その土台となる教育環境が非常に充実しています。都内にありながら敷地は広いので、生徒にできる限り良い環境を提供しようと、施設・設備を整えてきました。

広野 恵まれた教育環境の下、勉強だけでなく文武両道の実践にも力を入れていらっしゃいますね。

小俣 たとえばグラウンドでは、生徒が伸び伸びと活動できるよう全面を人工芝にする工事を進めています。80周年記念事業の一環で、今年の9月から使用できる予定です。

広野 中学・高校では体づくりも重視なさっていますね。

小俣 温水プールや二つの体育館、柔道場、剣道場なども備えており、テニスコートも整っています。非常に充実して



2022年9月、全面人工芝の快適なグラウンドにリニューアルされます

いると自負しています。同時に、美術室・音楽室・書道室・技術室をそれぞれ二つずつ設置するなど、本格的な芸術関連施設の整備にも力を入れてきました。音楽の授業では昨年からバイオリンを導入。生徒全員がバイオリンに触れる機会を持たせるようにしています。学校行事や部活動も盛んで。こうした取り組みを「人間形成」につなげたいと考えています。

「使える」ことを重視する英語教育と 先進的な取り組みを続けるICT教育

広野 学習面についてはいかがですか。英語教育には定評がありますね。

小俣 生徒にはツールの一つとして英語を使えるようになってほしいという強い思いがあります。そのためにネイティブ教員やALT(外国語指導助手)による授業のほか、数多くのプログラムを実施しています。たとえば中1から高1までが対象の「イングリッシュ・シャワー」は、3日間「英語漬け」になる人気のプログラムで、生徒5～6名に対してネイティブ1名がついて英語で議論します。新型コロナの影響で最近はオンラインでしたが、今年7月からは対面で実施予定です。

同じく希望制のプログラムに、中3から高1までを対象とした15日間の「オーストラリア語学研修」や、高1対象でアメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドから1か国を選択し、その国の高校に通う3か月の「ターム留学」があります。昨年度の「オーストラリア語学研修」は残念ながら実施できませんでしたが、「ターム留学」は昨年度も生徒を送り出すことができました。また、「オンライン英会話」に熱心に取り組む生徒も多く、こちらも教員がサポートしています。

広野 英語力を伸ばすチャンスがたくさん用意されているのはありがたいですね。ICT教育についてもお聞かせください。

小俣 ICT教育にはいち早く取り組み、先進的な設備と授業の充実に努めてきました。アクティブラーニング専用の「iRoom」は、1人1台の端末を用意した環境で、判断力・思考力・発信力を鍛える学びを実践。また、中学の3年間

は総合学習の時間を使い、「情報」の授業に力を入れています。その集大成となるのが卒業研究です。クラスでの予選を経て修了式で発表する機会を設けていますが、ICT機器を駆使したすばらしいプレゼンテーションの場になっています。

広野 今の子どもたちに必要な力ですね。

目標設定から受験対策まで きめ細かいサポートで希望する進路を実現

広野 大学進学については、どのようなサポートをされていますか。

小俣 本校の進路指導は、生徒の夢や目標を実現するのが大前提で、本人が行きたい大学への進学を全力で後押ししています。目標が定まるが多くの中の男子は一心不乱に勉強するので、中3・高1ではキャリア教育を重視。卒業生を招き、職業をテーマにした講演を行ってもらうなど、できるだけ早く目標設定ができるよう工夫しています。

具体的な受験対策では、学校だけで完結できるよう、教員がきめ細かくサポートしています。朝の補習に始まり、講習会や添削、小論文の指導など、わたしから見ても頭が下がるほど、教員たちが熱心にやってくれています。高2・3は夜の8時まで自習室を利用ることができ、教員にいつでも質問できる体制も整えています。生徒たちが学校で精いっぱい勉強し、将来につながる道を切り開いていくのも、本校の昔からの特徴だと思います。

広野 学校で面倒を見てもらえるのは、保護者の方にもあります。熱意あふれる先生方は学校の財産ですね。

小俣 まさに「教員あっての城北」だと感じます。そのせいで、卒業生が本当に学校に顔を出してくれる。

広野 最後に、受験生と保護者の方にメッセージをお願いします。

小俣 探究心を持ったお子さん、好奇心を持ったお子さんに入学してほしいと思います。城北はやりたいことが必ず見つかることで、そのために熱意あふれる教員と環境がそろっています。進学校ですが、「人をつくる学校」として体育や芸術にも力を入れています。どんなタイプのお子さんにも確実に居場所が見つかる城北へ、ぜひ来てください。



サピックス小学校
教育情報センター部長
広野 雅明



学校説明会などの情報は
上記よりご確認ください。